

## 「ふくしま未来基金」の選考結果について

福島が将来にわたり誰もが生き生きと生きていける地域となることに貢献する団体や社会企業を支援することを目的に募集した、ふくしま未来基金「未来づくり助成」「まちづくり草の根助成」について、多くの方々からご応募いただきありがとうございました。

2016年5月20日に二次審査委員会を開催し、採択団体が決定しましたので、応募、選考の状況も含めご紹介します。

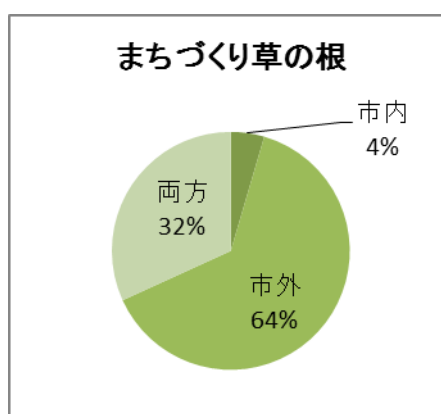
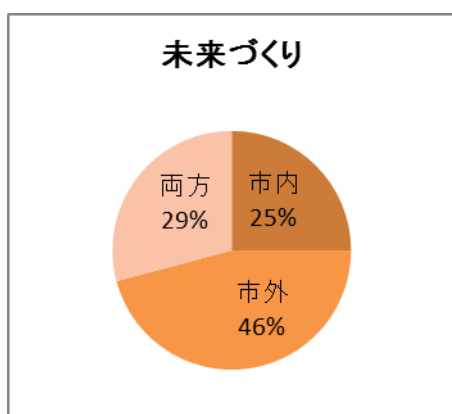
### 1. 応募状況

- (1) 募集期限            2016年3月28日（月）
- (2) 応募総数            46件（未来づくり24件、まちづくり草の根22件）

#### (3) 事業実施予定地域

（件）

	応募総数	市内	市外	両方
未来づくり	24	6	11	7
まちづくり草の根	22	1	14	7



## 2. 審査委員会

### (1) 開催日

一次審査会 2016年4月27日（水）

二次審査会 2016年5月20日（金）

### (2) 審査方法

審査委員会を設置し、審査委員による下記の審査基準に基づく書類選考を行いました。一次審査会を通過した団体には面談による二次審査会を実施し、採択団体を決定しました。

### (3) 審査委員

（五十音順）

委員長	鈴木 浩	福島大学名誉教授
委員	黒田 かをり	一般財団法人CSOネットワーク常務理事
委員	鷹野 秀征	公益財団法人パブリックリソース財団理事 復興庁上席政策調査官
委員	中鉢 博之	NPO 法人ビーンズふくしま理事
委員	長澤 裕子	株式会社吾妻高原ウィンドファーム代表取締役

### (4) 審査の基準

<未来づくり>

	未来づくり審査項目	審査の視点
1	団体のミッション	・団体のミッションが明確であるか
2	経営に対する意識、潜在能力	・情報公開、情報発信を十分行っているか
		・人材、組織などの事務局体制は整っているか
3	事業を続ける強い意志	・組織の安定性、継続性、自立性があるか
		・外部からの共感・支援に誠実に応えられる可能性があるか
4	将来の福島に関するビジョンを持っているか	・将来の福島に関するビジョンを持っているか
		・当該地域において、中核的であるか
5	対象とする社会課題に関する明確な分析	・解決したい社会的課題が明確であるか
		・この事業による受益者が明確であるか
6	課題解決に向けた方法の提案	・初年度、次年度、3年度の事業計画が具体的で実現可能か
		・課題解決に向けた方法の提案があるか
7	提案事業のもつ社会的インパクト	・高い社会的インパクト（効果）が見込まれるか
		・他の団体や地域への波及効果があるか

<まちづくり草の根>

	まちづくり審査項目	審査の視点
1	ミッションとガバナンスは明確か	・団体のミッションが明確であるか
		・ガバナンスは明確か
2	これまでの実績、経験（信頼できる団体か）	・情報公開、情報発信を十分行っているか
		・人材、組織などの事務局体制は整っているか
3	地域社会の課題を明確に把握しているか	・解決したい社会的課題が明確であるか
		・この事業による受益者が明確であるか
4	課題解決や軽減に向けた具体的な方法は持っているか	・課題解決に向けた方法の提案があるか
5	計画、実施体制、予算、スケジュールは適切か	・組織の安定性、継続性、自立性があるか
		・実現可能なスケジュールか

3. 審査結果

審査委員会による厳正な審査の結果、2016年度は新たに未来づくり4団体、まちづくり草の根8団体が採択されました。また、2015年度の継続助成として未来づくり4団体が引き続き採択されました。2016年5月までの1年間、活動がよりよい成果を生むよう支援を行っていきます。

<2015年度採択団体：未来づくり>

<2015年度採択団体：まちづくり草の根>

(五十音順)

団体名	地域	概要
特定非営利活動法人 いわきFスポーツクラブ	市外	<p><b>被災地の体力向上並びにコミュニティ再生支援事業</b></p> <p>東日本大震災に伴う復旧・復興の過程における地域住民の体力面・健康面・精神面でのダメージをケアする仮設住宅や災害公共住宅、また被災者の転入先自治体(コミュニティ不足)、障がい者施設の他、子ども達の体力向上を図る為、ストレッチとレクリエーションスポーツ活動を組み合わせた出前活動を3年に渡り実施してきたところ、活動先での評判は高く、殆どの施設からも継続が求められている状況から、この活動を継続・拡大していくことこそ、被災者の健康維持・向上と地域コミュニティの再生に大きな成果を得るものと確信できる事業である。</p> <p>【審査委員会からの期待】スポーツや文化活動を通じて、いわき市民と避難してこられた方々とのふれあいの場づくりとなることを期待しています。</p>

<p>特定非営利活動法人 郡山ペップ子育てネットワ ーク</p>	<p>市外</p>	<p><b>子どもの食生活講座(食育系統講義)の開催</b></p> <p>県外の医師や小児、小児アレルギー専門管理栄養士、病院管理栄養士などの食の専門家を講師にして保育・幼稚園、小学校栄養教諭や養護教員を対象に食育に関する系統講義を今回は7回開催し、震災後における福島の子どもの食生活の問題点を抽出し、それらを改善させるために具体的な方法について検討する。</p> <p>【審査委員会からの期待】食に関わる職をもった人を対象にした食育研修は、波及効果が大きいと期待しています。ぜひ福島らしい研修内容を開発してください。</p>
<p>福島移住女性支援 ネットワーク (EIWAN)</p>	<p>市内</p>	<p><b>ふくしま移住女性エンパワメントプロジェクト</b></p> <p>① 移住女性の日本語学習と日本語サポーター養成 ② 地元市民と移住女性が出会い、語り合う場づくり</p> <p>【審査委員会からの期待】外国にルーツをもつ女性たちが住みやすい社会、多様な支え合いのある共生社会づくりは、これからの福島のひとつの姿になると期待しています。</p>
<p>フクシマ環境未来基地</p>	<p>市外</p>	<p><b>いわき市の過疎地域における若者による森づくりと、「木の拠点」を通じた地域づくり活動</b></p> <p>福島県の復興は、新しい社会の在り方の提示と合わせて進めていくべきである。県の面積の約7割を占める森林と過疎地域をいかに再生していくかは重要な命題である。本事業では、過疎地域において森づくりを切り口とした交流活動の促進と、木を生かした地域拠点づくりを進めることで、新たな持続モデルを築くことを目指す。</p> <p>【審査委員会からの期待】継続的に若者ボランティアを森林整備活動に来てもらうのは工夫が必要だと思いますが、ぜひ知恵を絞ってください。</p>
<p>特定非営利活動法人 ふくしま Green space</p>	<p>市内 市外</p>	<p><b>福島市の郷土野菜『信夫冬菜』が除染畑で復活！プロジェクト</b></p> <p>震災後、放射能の影響から、家庭菜園や幼稚園・保育園での畑の活動は縮小傾向にあり、子どもが植物に親しむ機会が減っている。杉浦広幸農学博士の指導で子どもも安心して入れる畑を作り、福島市唯一の郷土野菜である「信夫冬菜」の栽培を復活させて、郷土の野菜に興味を持ってもらうきっかけを作る。</p> <p>【審査委員会からの期待】子どもでも安心して触れられる畑づくりのモデルになること、子育て世代が明るくなることを期待しています。</p>
<p>福島県立 福島高等学校 SSH 部</p>	<p>市内 市外</p>	<p><b>Radiation Protection Workshop in Fukushima</b></p> <p>フランスの高校生と本校の生徒との福島でのワークショップ。個人線量や食材の線量調査を行い科学的に福島の安全を確認する。一方帰還解除準備地域の町職員やすでに帰還した住民、および県観光交流課職員などから状況の聞き取りを行い、福島の問題点は何かどのような解決策があるか、生徒に日仏共同でプレゼンテーションさせる。</p> <p>【審査委員会からの期待】高校生たちの地域貢献の意識、グローバルな情報発信の大切さや自主性の醸成につながることを期待しています。</p>
<p>特定非営利活動法人 ふくしま30年プロジェクト</p>	<p>市内 市外</p>	<p><b>放射能見える化(放射能測定)により不安を減らすプロジェクト</b></p> <p>除染後の地域には放射能の濃淡が見られる。子ども達の活動範囲である通学路や生活空間の放射線量測定を、父母・保育士・教職員達と共同で50回実施する。また、この測定と同時に採</p>

	<p>取した土壌をゲルマニウム半導体検出器で放射性セシウムの放射エネルギーを測定する。</p> <p>【審査委員会からの期待】少しでも子どもたちの被ばくを低減させ、子育てのストレスを軽減するために、地道な活動の継続を期待します。</p>
<p>認定特定非営利活動法人 フロンティア南相馬</p>	<p><b>相双地域住民の健康づくり(体力・運動能力向上)プロジェクト</b></p> <p>震災に伴う相双地域の子どもの体力低下、運動能力の低下と精神的なケアと表現力向上を目的として、屋内施設の空きスペースを活用してトレーニングジムを開設します。身体の状態の詳細を計測できる体組成計等を導入し、個別に運動プログラムを提案。健康づくりの意識作りと環境を整えます。</p> <p>【審査委員会からの期待】体組成計を上手に使用して、効果的な運動プログラムをたくさん提案してください。相双地域の健康づくりの拠点となることを期待しています。</p>